

施策評価(令和元年度)

1 基本項目

基本目標	3	ふれあいと活力のあふれるまち
基本施策	2	地域とともに歩む魅力ある産業の育成
施策	21	観光
基本方針		
自然、歴史、文化など観光資源の活用と、一年を通じて羽村の魅力や価値を市内外へ発信する取組みを進め、地域がにぎわう観光の振興を図ります。		

2 事後評価結果

計画事業名	進捗状況	妥当性 (必要性)	効率性 (手法)	有効性 (成果)	今後の 方向性
新たな観光資源の発掘・研究	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
さまざまな媒体を活用した情報発信・シティプロモーションの強化	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
サイクリングステーションの整備	計画どおり完了	A	A	B	現状のまま継続
国際化対応の推進	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
観光スポット周辺環境の整備	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
花と水のまつり、夏まつり、ふるさと祭り等の充実	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
はむらの水PR事業の充実	計画を見直し完了	A	A	A	現状のまま継続
地域製品のブランド化・羽村名産品の開発・普及	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
農商観連携施設の整備	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
農商観連携事業の推進	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続

3 施策評価結果

施策21「観光」では、10事業について評価を実施した。

進捗状況については、「新たな観光資源の発掘・研究」などの9事業については、「計画どおり完了」であるが、「はむらの水PR事業の充実」については、水の保全に関する宣言の制定について、庁内プロジェクト会議において意見を集約し進めていくこととしており、制定時期を絞り込んでいくことで具現化を図る必要があることから、「計画を見直し完了」と評価している。

各事業における妥当性(必要性)、効率性(手法)については、すべてA(適切なもの)と評価している。

有効性(成果)については、「サイクリングステーションの整備」において、具体的な整備計画等の検討に至っていないことから、B(課題があり、今後改善が必要なもの)と評価しており、その他の事業については、A(適切なもの)と評価している。

本施策の基本方針は、「観光資源の活用と一年を通じて羽村の魅力や価値を市内外へ発信する取組みを進め、地域がにぎわう観光の振興を図る」ことであり、「新たな観光資源の発掘・研究」においては、近隣自治体との共同事業「女子旅推進プロジェクト」に取り組んだことで、女性の誘客が期待でき、地域がにぎわう観光の振興に努めたほか、「さまざまな媒体を活用した情報発信・シティプロモーションの推進」では、産業祭などでVR等を活用し、市の観光資源を広く発信するなどの取組みを実施した。

また「花と水のまつり、夏まつり、ふるさと祭り等の充実」では、花と水のまつりにあっては気温の低い日が多く、桜、チューリップともに例年以上に長く楽しめ、夏まつりについては、好天に恵まれ多くの来場者で賑わったことから、上記の取組みを通じて、施策に掲げた基本方針の達成に向けて着実な推進が図られているものと評価する。

1.基本項目	作成部署	産業環境部			産業振興課
事業名	開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 新たな観光資源の発掘・研究		年	その他	自治事務(市独自)	その他
01		年			
02		年			
03		年			
04		年			
05		年			
関連課					
基本目標3 ふれあいと活力あふれるまち	施策区分	21	観光	管理No.	1

2.事業の概要

施策の基本方針	自然、歴史、文化などの観光資源の活用と、一年を通じて羽村の魅力や価値を市内外へ発信する取り組みを進め、地域がにぎわう観光の振興を図ります。
事業内容	観光協会・商工会・大学などと連携し、羽村堰、玉川上水、動物公園等の既存の観光資源の価値を高めるとともに、新たな観光資源の発掘・活用について研究を進め、魅力の創出を図ります。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成30年度(現況)	3か年計画		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業内容 事業量等	関係機関との調整	同左	同左	同左
	近隣自治体との共同事業「女子旅推進プロジェクト」の検討 冊子の編集	同左 共同イベントの実施	同左	同左

4 投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成30年度(現況)		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	10H	1人	10H	1人	10H	1人	10H
主事・主任職	2人	20H	2人	20H	2人	20H	2人	20H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成30年度(現況)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費				
人件費(係長職)	49	49	49	49
人件費(主任・主事職)	127	127	127	127
総事業費(合計)	176	176	176	176
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	176	176	176	176
財源内訳(合計)	176	176	176	176

③コスト計算

ア 市民 人における1人あたりのコストは、 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果(物) の出来高 における1 のコストは 円
 ※ 対象者:

Do(実行)

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無 <input checked="" type="checkbox"/>	有 <input type="checkbox"/>	指示事項・改善内容
--	-------------------------------	-----------

②活動実績

観光協会等の関係団体とともに、近隣自治体との共同事業「女子旅推進プロジェクト」の企画を具現化し、2月には共同イベント「女子旅パネルディスカッション」を開催し、約40名の参加があった。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	-	-	-	-	-

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	10H	1人	10H
主事・主任職	2人	40H	1人	20H

④事業量(活動量)

実施計画	⇒	今年度実績
○関係機関との調整 ○近隣自治体との共同事業「女子旅推進プロジェクト」の検討・共同イベントの実施		○関係機関との調整 ○近隣自治体との共同事業「女子旅推進プロジェクト」の検討・共同イベントの実施

Check(評価)

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥当性(必要性) <input type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効率性(手法) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有効性(成果) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

近隣自治体との共同事業「女子旅推進プロジェクト」による「女子旅パネルディスカッション」を開催し、西多摩の魅力を発信した。これを契機に女性の誘客が期待でき、地域が賑わう観光の振興に努めた。

Action(改善)

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

観光協会等の関係団体とともに近隣市との連携を強固にし、市域を超えた観光資源の発掘に努める。

1.基本項目		作成部署		産業環境部		産業振興課	
事業名		開始年度		実施期間		事業種別	
さまざまな媒体を活用した情報発信・シティプロモーションの強化		年		その他		自治事務(市独自)	
		年				その他	
		年				○	
		年					
		年					
		年					
		年					
関連課		情報管理課、企画政策課					
基本目標3		ふれあいと活力あふれるまち		施策区分		21 観光	
				管理No.		2	

2.事業の概要

施策の基本方針	自然、歴史、文化などの観光資源の活用と、一年を通じて羽村の魅力や価値を市内外へ発信する取り組みを進め、地域がにぎわう観光の振興を図ります。
事業内容	テレビ、新聞、各種情報誌などさまざまなメディアを活用した効果的なPR活動を推進します。また、市の観光資源をバーチャルリアリティで紹介するシステムを導入し、イベントなどでの活用を図るなど情報発信機能を強化します。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成30年度(現況)	3か年計画		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業内容 事業量等	テレビ、新聞、各種情報誌等のメディアを活用してPR活動を実施	同左	同左	同左
	産業祭でVR(バーチャルリアリティ)を活用した産業のPRを実施	同左	同左	同左
	観光案内所でのバーチャルリアリティ映像の配信	同左	同左	同左
	観光協会作成の「ぶらりはむら」等の増刷支援	同左	同左	同左
	羽村駅・小作駅等へのWi-Fi環境の導入の検討	羽村駅・小作駅等へのWi-Fiの導入・活用	羽村駅・小作駅等でのWi-Fiの活用	同左

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成30年度(現況)		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	10H	1人	10H	1人	10H	1人	10H
主事・主任職	1人	20H	1人	20H	1人	20H	1人	20H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成30年度(現況)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費	500	500	500	500
人件費(係長職)	49	49	49	49
人件費(主任・主事職)	64	64	64	64
総事業費(合計)	613	613	613	613
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	613	613	613	613
財源内訳(合計)	613	613	613	613

③コスト計算

ア 市民 55,565 人における1人あたりのコストは、 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果(物) の 出来高 における1 のコストは 円
 ※ 対象者:

Do(実行)

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無 <input checked="" type="checkbox"/>	有 <input type="checkbox"/>	指示事項・改善内容

②活動実績

はむら花と水のまつり等のイベントについては、定例記者会見や広報紙、市公式サイト、SNSなど様々な媒体を活用し、PR活動を行った。また、第50回羽村市産業祭では、市内各所をVR映像で紹介するなど、来訪者に効果的に情報を発信した。

また、羽村駅(7月)と小作駅(5月)に「はむらCity Wi-Fi」を導入し、活用を図った。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	500	-	500	500	100.0%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	10H	1人	10H
主事・主任職	1人	20H	1人	20H

④事業量(活動量)

<p style="text-align: center;">実施計画</p> <p>○テレビ、新聞、各種情報誌等のメディアを活用してのPR活動を実施</p> <p>○産業祭でVR(バーチャルリアリティ)を活用した産業のPRを実施</p> <p>○観光案内所でのバーチャルリアリティ映像の配信</p> <p>○観光協会の作成の「ぶらりはむら」等の増刷支援</p> <p>○羽村駅・小作駅等へのWi-Fiの導入・活用</p>	⇒	<p style="text-align: center;">今年度実績</p> <p>○テレビ、新聞、各種情報誌等のメディアを活用してのPR活動を実施</p> <p>○産業祭でVR(バーチャルリアリティ)を活用した産業のPRを実施</p> <p>○観光案内所でのバーチャルリアリティ映像の配信</p> <p>○観光協会の作成の「ぶらりはむら」等の増刷支援</p> <p>○羽村駅・小作駅へのWi-Fiの導入・活用</p>
---	---	---

Check(評価)

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥当性(必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効率性(手法) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有効性(成果) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

あらゆる情報発信ツールを活用し、年間を通して各種イベント等への誘導ならびに市の魅力発信に努めた。

Action(改善)

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

観光協会等の関係団体とともに近隣市との連携を強固にし、市域を超えた観光資源の発掘に努める。

1.基本項目		作成部署		産業環境部		産業企画課	
事業名		開始年度		実施期間		事業種別	
00 サイクリングステーションの整備		平成 27 年		その他		自治事務(市独自) その他	
01		年				○	
02		年					
03		年					
04		年					
05		年					
関連課							
基本目標3 ふれあいと活力あふれるまち		施策区分		21 観光		管理No. 3	

2.事業の概要

施策の基本方針	自然、歴史、文化などの観光資源の活用と、一年を通じて羽村の魅力や価値を市内外へ発信する取り組みを進め、地域がにぎわう観光の振興を図ります。
事業内容	多摩川沿いや奥多摩街道を走るサイクリストやランナーをターゲットに休憩スペースや情報コーナーを備えたサイクリングステーションの整備に取り組みます。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成30年度(現況)	3か年計画		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業内容 事業量等	産業関連の公共施設全体の構想の検討	同左 ※事業を検討する中で事業費を算出	検討結果の反映	
	サイクリスト等の利用環境整備に向けた関係機関との調整	同左	サイクリングステーションの整備工事設計 同左	サイクリングステーションの整備工事

4 投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成30年度(現況)		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	150H	1人	150H	1人	150H	1人	150H
主事・主任職	人	H	人	H	人	H	人	H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成30年度(現況)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費			-	-
人件費(係長職)	721	721	721	721
人件費(主任・主事職)				
総事業費(合計)	721	721	721	721
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	721	721	721	721
財源内訳(合計)	721	721	721	721

③コスト計算

ア 市民 人における1人あたりのコストは、 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果(物) の出来高 における1 のコストは 円
 ※ 対象者:

Do(実行)

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無 <input checked="" type="checkbox"/>	有 <input type="checkbox"/>	指示事項・改善内容
--	-------------------------------	-----------

②活動実績

休止中の水上公園の今後の検討と合わせた整備計画を練る必要があり、産業関連施設の全体構想、農商観連携施設との関係を整理しながら、昨年度実施したサウンディング調査をもとに、羽村堰周辺に人が集うための拠点整備構想の中で検討した。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	-	-	-	-	-

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	150 H	1人	50 H
主事・主任職	人	H	1人	H

④事業量(活動量)

実施計画	⇒	今年度実績
○産業関連の公共施設全体の構想の検討 ○サイクリスト等の利用環境整備に向けた関係機関との調整		○産業関連の公共施設全体の構想の検討 ○サイクリスト等の利用環境整備に関する研究

Check(評価)

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥当性(必要性) <input type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効率性(手法) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有効性(成果) <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	B

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

羽村市長期総合計画において、水辺を活用した賑わいの創出として、サイクリングステーションの整備を位置付けており、水上公園の今後の方向性と合わせた施設の整備に向けて段階的な検討を進める。

Action(改善)

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

休止中の水上公園の今後の検討と合わせた整備計画を練る必要があるため、効果的な事業になるよう引き続き検討を進める。

【今後の取組方針】

産業関連施設全体の構想を検討する中で、サイクリングステーションの整備に努める。

1.基本項目		作成部署	産業環境部		産業振興課	
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 国際化対応の推進			年	その他	自治事務(市独自)	その他
01			年			
02			年			
03			年			
04			年			
05			年			
関連課	東京オリンピック・パラリンピック準備室					
基本目標3	ふれあいと活力あふれるまち	施策区分	21	観光	管理No.	4

2.事業の概要

施策の基本方針	自然、歴史、文化などの観光資源の活用と、一年を通じて羽村の魅力や価値を市内外へ発信する取り組みを進め、地域がにぎわう観光の振興を図ります。
事業内容	観光のグローバル化が進む中で、市を訪れる外国人も今後増加することが予想されるため、案内表示のユニバーサル化や観光ガイドの育成、宿泊環境の充実などの国際化に向けた取り組みを進めます。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成30年度(現況)	3か年計画		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業内容 事業量等	外国語版ガイドマップの活用	観光のグローバル化に向けた調査・検討 同左	観光協会と連携して、外国語版観光ガイドの作成 同左	外国語版観光ガイドの活用
	外国人向けの観光ガイドの育成	案内表示のユニバーサル化の検討 ※事業を検討する中で事業費を算出 同左	案内表示のユニバーサル化 同左	同左

4 投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成30年度(現況)		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	30H	1人	30H	1人	30H	1人	30H
主事・主任職	1人	50H	1人	50H	1人	50H	1人	50H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成30年度(現況)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費				
人件費(係長職)	145	145	145	145
人件費(主任・主事職)	158	158	158	158
総事業費(合計)	303	303	303	303
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	303	303	303	303
財源内訳(合計)	303	303	303	303

③コスト計算

ア 市民 55,565 人における1人あたりのコストは、 5 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果(物) の 出来高 における1 のコストは 円
 ※ 対象者:

Do(実行)

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無 <input checked="" type="checkbox"/>	有 <input type="checkbox"/>	指示事項・改善内容

②活動実績

市の施設や商工会、観光案内所のほか、市域を超えて東京都観光情報センターや羽田空港などに外国語版ガイドマップを配置した。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	-	-	-		-

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	30H	1人	30H
主事・主任職	1人	50H	1人	50H

④事業量(活動量)

実施計画	⇒	今年度実績
○観光のグローバル化に向けた調査・検討 ○外国語版ガイドマップの活用 ○案内表示のユニバーサル化の検討 ○外国人向けの観光ガイドの育成		○観光のグローバル化に向けた調査・検討 ○外国語版ガイドマップの活用 ○案内表示のユニバーサル化の検討 ○外国人向けの観光ガイドの育成

Check(評価)

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効(手法) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有(成果) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

グローバル化に向けた観光ガイドの育成などに努めたほか、案内表示やガイドマップの作製について、調査・研究を行うなど、地域がにぎわう観光の振興につながる取組みを実施した。

Action(改善)

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

訪日外国人などの市内への来訪者の需要を的確に把握し、今後のグローバル対策を検討する。

1.基本項目	作成部署	産業環境部		産業振興課		
事業名	開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト	
00 観光スポット周辺環境の整備	不明	年	その他	自治事務(市独自)	その他	○
01		年				
02		年				
03		年				
04		年				
05		年				
関連課						
基本目標3 ふれあいと活力あふれるまち	施策区分	21	観光	管理No.	5	

2.事業の概要

施策の基本方針	自然、歴史、文化などの観光資源の活用と、一年を通じて羽村の魅力や価値を市内外へ発信する取り組みを進め、地域がにぎわう観光の振興を図ります。
事業内容	来訪者の快適性を向上させ、目的地までの円滑な移動や市内を周遊しやすくするため、観光スポット周辺への観光案内標識の設置や駐車場、トイレなどの整備を進めます。
根拠法令	多摩島しょ地域観光施設整備等補助事業
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成30年度(現況)	3か年計画		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業内容 事業量等	観光案内標識の設置の検討	同左 ※事業を検討する中で事業費を算出	観光案内標識の設置	

4 投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成30年度(現況)		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	30H	1人	30H	1人	30H	人	H
主事・主任職	1人	30H	1人	60H	1人	30H	人	H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成30年度(現況)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費			-	
人件費(係長職)	145	145	145	
人件費(主任・主事職)	95	190	95	
総事業費(合計)	240	335	240	
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	240	335	240	
財源内訳(合計)	240	335	240	

③コスト計算

ア 市民 55,565 人における1人あたりのコストは、 6 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果(物) の 出来高 における1 のコストは 円
 ※ 対象者:

Do(実行)

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無 <input checked="" type="checkbox"/>	有 <input type="checkbox"/>	指示事項・改善内容

②活動実績

観光案内標識(デジタルサイネージ)の設置に向けて、民間事業者とともに先駆的な取組み事例について、現地視察のほか、事業費の算定について調査するなど情報収集に努めた。
また、東京観光財団と実例や財源となる補助金について、調査・研究した。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	-	-	-		-

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	30H	1人	30H
主事・主任職	1人	60H	1人	60H

④事業量(活動量)

実施計画	⇒	今年度実績
○観光案内標識の設置の検討		○観光案内標識の設置の検討

Check(評価)

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥当性(必要性) <input type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効率性(手法) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有効性(成果) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

来訪者の利便性向上のため、民間事業者を交え、他市の導入事例なども参考に検討した。ランニングコスト等を踏まえ、観光振興の一助となるよう、時代に合った形での導入に向けて、引き続き検討を進める。

Action(改善)

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

観光協会等と連携し、最善の形で導入ができるよう、引き続き検討を進める。

1.基本項目		作成部署		産業環境部		産業振興課	
事業名		開始年度		実施期間		事業種別	
花と水のまつり、夏まつり、ふるさと祭り等の充実		年		その他		自治事務(市独自)	
00		年		施行者への補助・助成		○	
01		年					
02		年					
03		年					
04		年					
05		年					
関連課							
基本目標3 ふれあいと活力あふれるまち		施策区分		21 観光		管理No. 6	

2.事業の概要

施策の基本方針	自然、歴史、文化などの観光資源の活用と、一年を通じて羽村の魅力や価値を市内外へ発信する取り組みを進め、地域がにぎわう観光の振興を図ります。
事業内容	市の主要な観光イベントである花と水のまつり、夏まつり、ふるさと祭りなどの集客に結びつくよう、より一層の内容の充実を図るとともに、羽村の独自性を前面に出した新たなイベントの開催についても検討します。
根拠法令	
条例	
要綱等	羽村市補助金等交付要綱

3.実施計画

Plan【計画】	平成30年度(現況)	3か年計画		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業内容 事業量等	実行委員会組織によるイベント内容の充実 花と水のまつり 150,000人 夏まつり 70,000人 ふるさと祭り 7,500人 産業祭 80,000人 はむらイルミネーション 16,000人 はむらにぎわい音楽祭等	同左	同左	同左

4 投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成30年度(現況)		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	900H	1人	900H	1人	900H	1人	900H
主事・主任職	2人	1,800H	2人	1,800H	2人	1,800H	2人	1,800H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成30年度(現況)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費	46,590	42,415	42,415	42,415
人件費(係長職)	4,326	4,326	4,326	4,326
人件費(主任・主事職)	11,358	11,358	11,358	11,358
総事業費(合計)	62,274	58,099	58,099	58,099
国庫支出金				
都支出金	1,646	1,481	1,481	1,481
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	60,628	56,618	56,618	56,618
財源内訳(合計)	62,274	58,099	58,099	58,099

③コスト計算

ア 市民 55,565 人における1人あたりのコストは、 1,046 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果(物) の 出来高 における1 のコストは 円
 ※ 対象者:

Do(実行)

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無 <input checked="" type="checkbox"/>	有 <input type="checkbox"/>	指示事項・改善内容

②活動実績

花と水のまつりでは気温の低い日が多く、桜、チューリップとともに例年以上に長く楽しみ、多くの人で賑わった。
夏まつりは「躍」をテーマに開催したが、連日とも好天に恵まれ、計画を上回る来場者で賑わった。
また、産業祭等各種イベントについても計画どおり実施した。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	42,415	▲ 1,500	40,915	39,660	96.9%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	900 H	1人	900 H
主事・主任職	2人	3,600 H	2人	1,800 H

④事業量(活動量)

実施計画	⇒	今年度実績
イベント内容の充実 ○花と水のまつり 150,000人 ○はむら夏まつり 70,000人 ○ふるさと祭り 7,500人 ○羽村市産業祭 80,000人 ○はむらイルミネーション 16,000人 ○はむらにぎわい音楽祭等		イベント内容の充実 ○花と水のまつり 197,000人 ○はむら夏まつり 105,000人 ○ふるさと祭り 7,000人 ○羽村市産業祭 90,000人 ○はむらイルミネーション 1,350人 ○はむらにぎわい音楽祭等

Check【評価】

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥当性(必要性) <input type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効率性(手法) <input type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input checked="" type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有効性(成果) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input checked="" type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

各種イベントは、概ね天候にも恵まれ、多くの来場者によるにぎわいを創出し、市内産業の振興が図られた。

Action【改善】

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

観光協会等の関係団体とともに近隣市との連携を強固にし、市域を超えた観光資源の発掘に努める。

1.基本項目		作成部署		上下水道部		上下水道業務課	
事業名		開始年度		実施期間		事業種別	
はむらの水PR事業の充実 ※施策32に事業内容を掲載		平成 28 年		継続		自治事務(市独自)	
						直営	
						プロジェクト	
00							○
01			年				
02			年				
03			年				
04			年				
05			年				
関連課		環境保全課、産業振興課					
基本目標4		ひとと環境にやさしい安全で快適なまち		施策区分		21 観光	
				管理No.		7	

2.事業の概要

施策の基本方針	自然、歴史、文化などの観光資源の活用と、一年を通じて羽村の魅力や価値を市内外へ発信する取り組みを進め、地域がにぎわう観光の振興を図ります。
事業内容	都民の水の源である羽村堰・玉川上水が市内に存在し、清澄で豊富な地下水を利用した独自の安全・安心な上水道事業や低廉で良質な工業用水道事業を展開する市として、水の保全に関する宣言を行うなど、「はむらの水」の積極的なPRIに取り組みます。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成30年度(現況)	3か年計画		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業内容 事業量等	リーフレット「水だより」を作成し、水道使用者に向けて全戸配布実施	同左	同左	同左
	市内不動産事業者にリーフレット「水だより」の窓口配布を依頼	同左	同左	同左
	イベント等で水の飲み比べ「きき水」体験の実施	同左	同左	同左
	水の保全に関する宣言は、庁内プロジェクト会議で意見聴取	水の保全に関する宣言は、庁内プロジェクト会議で意見聴取及び集約		
		宣言に向けた基本方針の策定		
		宣言に関するスケジュールの作成		
	「水はむら」オリジナルラベルの製造	同左	同左	同左
	水道応援団の立ち上げ	水道応援団の活動支援	同左	同左

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成30年度(現況)		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	30 H	1人	60 H	1人	60 H	1人	60 H
主事・主任職	1人	40 H	1人	10 H	1人	10 H	1人	10 H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成30年度(現況)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費	756	756	756	756
人件費(係長職)	145	289	289	289
人件費(主任・主事職)	127	32	32	32
総事業費(合計)	1,028	1,077	1,077	1,077
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額	756	756	756	756
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	272	321	321	321
財源内訳(合計)	1,028	1,077	1,077	1,077

③コスト計算

ア 市民 55,565 人における1人あたりのコストは、 19 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果(物) の 出来高 における1 のコストは 円
 ※ 対象者:

Do(実行)

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無 <input checked="" type="checkbox"/>	有 <input type="checkbox"/>	指示事項・改善内容
--	-------------------------------	-----------

②活動実績

リーフレット「水だより」を作成し、水道使用者に全戸配布するとともに、市内不動産業者に窓口配布を依頼した。
 はむら花と水のまつりほか、各種イベントにおいて、「きき水」・「水はむら」の試飲・販売等、PR事業を行った。
 また、「水はむら」オリジナルラベルの製造希望者(1団体)に計2,016本(84箱)分のオリジナルラベルによる「水はむら」を製造し、納品した。
 水道応援団の活動支援として、9月に意見交換会を実施した。
 水の保全に関する宣言の制定については、庁内プロジェクト会議において意見を集約し進めており、制定時期を絞り込んでいくことで具現化を図る検討を進めた。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	756	-	756	369	48.8%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	60H	1人	60H
主事・主任職	1人	10H	1人	10H

④事業量(活動量)

実施計画	⇒	今年度実績
○「水だより」の作成、配布 ○「きき水」体験の実施 ○水の保全に関する宣言の制定 ○オリジナルラベルによる「水はむら」の製造 ○水道応援団の活動支援	⇒	○「水だより」の作成、配布 ○「きき水」体験・水はむら試飲イベントの実施 ①市内イベント: はむら花と水のまつり、水道週間(水道事務所)、環境フェスティバル(ゆとろぎ)、産業祭 ②市外イベント: 西多摩フェア(イオンモール日の出)、多摩の魅力発信イベント(豊洲市場)、まるごと多摩マルシェ(昭島市モリパークアウトドアヴィレッジ) ○水の保全に関する宣言の検討 ○オリジナルラベルによる「水はむら」の製造 ○水道応援団の活動支援

Check(評価)

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効(手法率) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有(成果性) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input checked="" type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

健全な水道事業経営を行うために、安くておいしい良質な「はむらの水」を広く周知し、水道水の需要を高めていく必要があり、本事業は推進していくべきものであると捉えている。令和元年度は、体験型PR事業である「きき水」を市内外で実施し、2,200人を超える方に「はむらの水」を体感いただくことができたことや、市外のイベントにおいて販売促進の一環として「水はむら」の試飲を行い、売り上げの増加につなげることができた。また、全戸への「水だより」の配布、オリジナルラベルによる「水はむら」の製造(計2,016本)、水道応援団の活動支援(意見交換会の実施)など、予定していた事業を実施することができた。

Action【改善】

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

水の保全に関する宣言の制定について、庁内プロジェクト会議において意見を集約し進めていく。また、観光協会等の関係団体とともに近隣市との連携を強固にし、市域を超えた観光資源の発掘に努める。

Do(実行)

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無 <input checked="" type="checkbox"/>	有 <input type="checkbox"/>	指示事項・改善内容

②活動実績

昨年度に引き続き、姉妹都市である山梨県北杜市と「羽～杜プロジェクト推進会議」を開催し、議論を重ねた。
今年度も羽村のチューリップと北杜市のひまわりのエキスをを使った石鹸を作り、姉妹都市に関するアンケートに回答をいただいた両市の市民に配布した。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	-	-	-	-	-

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	30 H	1人	30 H
主事・主任職	1人	30 H	1人	30 H

④事業量(活動量)

実施計画	⇒	今年度実績
<ul style="list-style-type: none"> ○新たな商品開発の検討 ○羽～杜プロジェクトを活用した商品開発の検討プロジェクト会議4回 ○羽村ブランドの認定制度の検討 		<ul style="list-style-type: none"> ○新たな商品開発の検討 ○羽～杜プロジェクトを活用した商品開発の検討プロジェクト会議3回 ○羽村ブランドの認定制度の検討

Check(評価)

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効(手法) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input checked="" type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有(成果) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

北杜市とのプロジェクト会議において、それぞれの市域における課題や産業に関する情報交換をはじめ、新たな商品開発等に向けた情報交換を行い、地域がにぎわう観光の振興を図った。

Action(改善)

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

引き続き、羽～杜プロジェクト事業の推進に努めるほか、羽村ブランドの創設に向け、関係機関と連携し、議論を深める。

1.基本項目		作成部署	産業環境部		産業企画課	
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00	農商観連携施設の整備 ※施策19に事業内容を掲載(施策20と重複)		継続	自治事務(市独自)	その他	○
01						
02						
03						
04						
05						
関連課	産業振興課					
基本目標3	ふれあいと活力あふれるまち	施策区分	21	観光	管理No.	9

2.事業の概要

施策の基本方針	自然、歴史、文化などの観光資源の活用と、一年を通じて羽村の魅力や価値を市内外へ発信する取り組みを進め、地域がにぎわう観光の振興を図ります。
事業内容	市内の農産物や名産品・特産品を販売し、あわせて市の地域資源、観光情報の発信を、一年を通じて行う観光案内所の機能を有する農商観連携施設の整備に取り組みます。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成30年度(現況)	3か年計画		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業内容 事業量等	産業関連の公共施設全体の構想の検討・とりまとめ	農商観連携施設の具体的な整備計画の検討	同左	同左

4 投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成30年度(現況)		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	50H	1人	50H	1人	50H	1人	50H
主事・主任職	人	H	人	H	人	H	人	H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成30年度(現況)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費				
人件費(係長職)	241	241	241	241
人件費(主任・主事職)				
総事業費(合計)	241	241	241	241
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	241	241	241	241
財源内訳(合計)	241	241	241	241

③コスト計算

ア 市民 人における1人あたりのコストは、 円

イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円

ウ 成果(物) の出来高 における1 のコストは 円

※ 対象者:

Do(実行)

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無 <input checked="" type="checkbox"/>	有 <input type="checkbox"/>	指示事項・改善内容

②活動実績

昨年度実施したサウンディング調査をもとに、産業関連施設の全体構想及び羽村堰周辺に人が集うための拠点整備構想の中で検討した。
羽中4丁目整備用地は、観光駐車場やイベント会場として暫定的な活用を図った。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	-	-	-	-	-

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	50H	1人	50H
主事・主任職	人	H	1人	H

④事業量(活動量)

実施計画	⇒	今年度実績
○農商観連携施設の具体的な整備計画の検討		○農商観連携施設の具体的な整備計画の検討

Check(評価)

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効(手法) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有(成果) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

産業関連施設の全体構想、羽村堰周辺の一体的な構想とともに、引き続き検討を進め、地域がにぎわう観光の振興を図る。

Action(改善)

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

産業関連施設全体の構想を検討する中で、農商観連携施設について検討する。

1.基本項目		作成部署	産業環境部		産業振興課	
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00	農商観連携事業の推進 ※施策19に事業内容を掲載(施策20と重複)	年	継続	自治事務(市独自)	その他	○
01		年				
02		年				
03		年				
04		年				
05		年				
関連課	産業企画課					
基本目標3	ふれあいと活力あふれるまち	施策区分	21	観光	管理No.	10

2.事業の概要

施策の基本方針	自然、歴史、文化などの観光資源の活用と、一年を通じて羽村の魅力や価値を市内外へ発信する取り組みを進め、地域がにぎわう観光の振興を図ります。
事業内容	農業、商業、観光が連携し、花と水のまつりなどのイベント会場や観光案内所等でのマルシェの開催など、市内の逸品や農産物等の販売を推進します。また、市内商店・飲食店での羽村市産の農産物の利用促進を図ります。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成30年度(現況)	3か年計画		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業内容 事業量等	農商観とのマッチングのコーディネート 4件	同左 5件	同左 6件	同左 7件
	激辛メニューの特別企画の開催や観光案内所でのはむらマルシェの開催 2回	同左 2回	同左 2回	同左 2回
	商業協同組合の実施する15日市の支援 6回	同左 6回	同左 6回	同左 6回
	活力市 2回	同左 2回	同左 2回	同左 2回

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成30年度(現況)		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	50H	1人	50H	1人	50H	1人	50H
主事・主任職	1人	50H	1人	50H	1人	50H	1人	50H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成30年度(現況)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費				
人件費(係長職)	241	241	241	241
人件費(主任・主事職)	158	158	158	158
総事業費(合計)	399	399	399	399
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	399	399	399	399
財源内訳(合計)	399	399	399	399

③コスト計算

ア 市民 人における1人あたりのコストは、 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果(物) の出来高 における1 のコストは 円
 ※ 対象者:

Do(実行)

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無 <input checked="" type="checkbox"/>	有 <input type="checkbox"/>	指示事項・改善内容

②活動実績

第5回はむらイルミネーションにおける「激辛フェス」(21店舗 開催期間10月2日～10月31日)において、羽村産の唐辛子を使用したメニューを提供する連携事業を実施した。
また、羽村市商業協同組合による「15日市」の開催(8/15を除く5回)を支援した。

③投入実績

決算の内訳 (単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	-	-	-	-	-

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	50 H	1人	50 H
主事・主任職	1人	50 H	1人	50 H

④事業量(活動量)

実施計画	⇒	今年度実績
○農商観とのマッチングのコーディネート 5件 ○激辛メニューの特別企画の開催や観光案内所でのむらマルシェ等の開催 2回 ○商業協同組合の実施する15日市の支援 6回	⇒	○農商観とのマッチングのコーディネート 3件 ○激辛メニューの特別企画の開催 ○商業協同組合の実施する15日市の支援 5回

Check(評価)

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥当性(必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効率性(手法) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input checked="" type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有効性(成果) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

農業、商業、観光それぞれの分野における振興につながり、産業全体を活性化できる事業となっている。

Action(改善)

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

商工会の主催事業である「激辛フェス」定着に向け、生産農家との連携充実のほか、市外からの来訪者の増加にもつながるよう、観光協会と施策を協議する。